

KINDAI CARELINK

The background of the cover is a vibrant blue and purple gradient. It features several stylized, glowing elements: Y-shaped antibody molecules in light blue and yellow, and large, textured spherical cells in shades of blue and purple. The overall aesthetic is scientific and futuristic.

Jun.2021 Vol.21

KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL 地域連携広報誌



病院長 東田 有智 ×

呼吸器・アレルギー内科
主任教授 松本 久子 ×

皮膚科
主任教授 大塚 篤司

2021年4月、呼吸器・アレルギー内科&皮膚科 主任教授着任



Dr. [Name] (Left)

Dr. [Name] (Right)

Professional Talk

呼吸器・アレルギー内科&皮膚科の先生方の本音は？

松本教授と大塚教授は、前職も同じ職場でしたね！もともと、ご存じでしたか？

松本：お名前はよく存じ上げていました。同じ患者さんを担当していましたので、その関係もあります。これからもどうぞ宜しくお願いします。

大塚：共通の患者さんを診察していましたので、ご相談などはさせていただいておりました。こちらこそ、よろしくお願いします。



先生方のご専門は？

－ アトピー性皮膚炎と悪性黒色腫 －

大塚：大学院で皮膚免疫の研究をしていたこともあり、アレルギーや腫瘍免疫を専門としています。アレルギーではアトピー性皮膚炎や乾癬を中心に患者さんを診ています。腫瘍免疫では悪性黒色腫が専門です。アトピー性皮膚炎、乾癬、悪性黒色腫すべてにおいて新規薬剤の開発が盛んです。生物学的製剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤など新たな作用機序を持つ薬剤と、そのバイオマーカーの探索などのトランスレーショナルリサーチに取り組んでいます。

各科のモットーは？

松本：患者さんに優しく信頼される医療を提供し、多職種との連携で病気の快癒に全力を尽くします。幅広い呼吸器・アレルギー内科疾患に対応し、高度かつ最新で安全な医療を提供します。信頼される医療人として生涯にわたり自己研鑽に励むとともに、臨床での unmet needs に気づき、その解を世界に発信していきます。

大塚：教室のモットーとして「仕事は楽しく。人にやさしく。医療を前進させよう」を掲げています。知識と経験があれば患者さんに質の高い医療を提供できるわけではありません。

人に対する優しさ、多様性を尊重する心、敬意をもったコミュニケーションを伴ってこそその専門知識だと思っています。



－ 難治性気道・呼吸器疾患への取り組み: precision medicine を目指して －

松本：喘息全体の5-10%を占める重症喘息には多様な病態が含まれますが、私たちはその多様性の解明に取り組み、フェノタイプ・エンドタイプに基づいた治療・管理の有用性や、慢性疾患における precision medicine の必要性を示してきました。また従来疾患としての認識に乏しかった“長引く咳”に咳喘息や胃食道逆流症などが関与するエビデンスを確立し、慢性咳嗽の治療・管理の向上に尽力してきました。COPD、気管支拡張症、閉塞性細気管支炎などを含めて、遺伝的要因や microbiome の関与など、多角的に難治性気道・呼吸器疾患の病態解明に取り組んでいます。



呼吸器・アレルギー内科 主任教授

松本 久子 Hisako Matsumoto



趣味：元来無粋ですが、強いて言うなら絵画鑑賞と落語鑑笑

【教授室にある、絵画を撮影させていただきました】

新体制で、COVID19へ立ち向かう

現在は COVID19 との戦いに勝つことが最重要課題です。

昨年からの重症例の治療を一手に引き受けてきた医療者達には、当科スタッフながら敬意を表したいと思います。今後も息切れすることなく対応していきたいと思っています。また中島 重徳名誉教授、現病院長の東田 有智教授が築かれた喘息・アレルギー内科疾患での実績は、国内外でトップレベルです。

さらに間質性肺疾患の診断精度・管理向上を目指し、放射線科医、病理医との合議（MDD）を取り入れている点も当科ならではの取り組みです。

Profile

1990年京都大学医学部卒業後、神戸市立中央市民病院勤務
その後、京都大学大学院医学研究科博士号取得し、
同院勤務を経て、オーストラリア（シドニー大学薬理学講座）留学
2006年京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学 助教
同院、講師・准教授を歴任
2021年より当院呼吸器・アレルギー内科 主任教授に着任

Qualification

総合内科専門医
呼吸器専門医
アレルギー専門医
気管支鏡専門医
感染症専門医



皮膚科主任教授

大塚 篤司 Atsushi Otsuka



小さな頃から本が好きで今もスキマ時間で読書をするのが気分転換です。あわせて数年前から WEB メディアや書籍のお仕事を依頼される機会が増え、書き物をしています。現在は、AERA dot.、日経新聞、京都新聞、M3でコラムやエッセイを連載しています。

休日は原稿の締め切りに追われています。(笑)

30年近く B'z のファンなので、大事な仕事の前は B'z を聞いてテンションをあげています。年に数回コンサートに行くのが生きがいであったのですが、コロナ禍でなくなり残念です。

趣味：読書と物書き、B'zに関係するものに触れること

【教室には、B'zに関するグッズがたくさん】

多才な新任主任教授、アレルギー・皮膚腫瘍のエキスパート

アレルギーとがんを専門としておりますので、アレルギー専門医とがん治療認定医を取得しました。

学生時代に料理が好きで調理師免許を取得してます。スイス留学中はほぼ毎日、家族に夕ご飯を作っていましたが最近には時間に余裕がなくパーパー調理師です。ちなみに車の運転は苦手で5年ほど前に運転免許証は返納しました。

Profile

2003年信州大学医学部卒業後、京都大学医学部附属病院勤務
2004年より島根県立中央病院皮膚科へ
その後、京都大学大学院医学研究科博士号取得
2012年スイス：チューリッヒ大学病院留学を経て、
2014年京都大学医学部附属病院皮膚科 助教
2017年京都大学医学部 外胚葉性疾患創薬医学講座 特定准教授就任
2021年より当院皮膚科 主任教授に着任

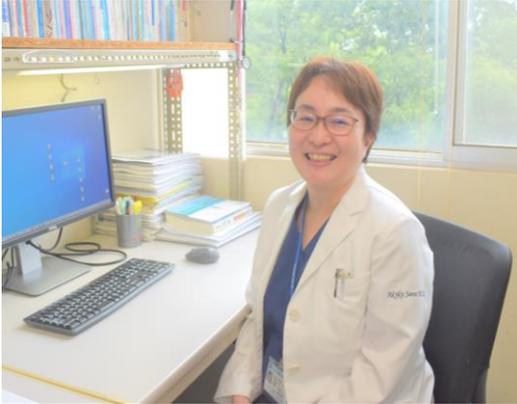
Qualification

皮膚科学会専門医
アレルギー学会専門医
がん治療認定医
調理師

呼吸器・アレルギー内科

－ 地域医療に貢献できる医局づくり －

本教室の伝統を引き継ぎ、重症喘息やアレルギー内科疾患（特に好酸球性疾患）、慢性咳嗽の制圧を目指します。また気管支拡張症・慢性下気道感染症や間質性肺疾患などの難治性呼吸器疾患に対して、包括的呼吸リハビリテーション（リハビリテーション科との連携）を含め、個々人の病態に応じた介入を行っていきます。Precision medicine を目指すことにより南大阪地域の医療、呼吸器・アレルギー内科学の発展に貢献し、優れた呼吸器・アレルギー内科医を育成したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



佐野 安希子（病棟医長）



西川 裕作（医局長）

皮膚科

－ ダイバーシティを尊重した医局づくり －

日本皮膚科学会の調べによると30歳未満の皮膚科医の7割が女性です。実際、近大皮膚科も7割くらいが女性で、中にはお子さんを4人育てながら働いていらっしゃる先生もいます。近年、ワークライフバランスが医師の間でも問題となっています。医師それぞれが抱える様々な環境のもと、仕事の継続性、質の高い医療の提供、研究の発展が課題となります。今後、ダイバーシティを尊重した医局作りをしていきたいと思っています。



柳原 茂人（外来・病棟医長）



加藤 麻衣子（医局長）



皆様と近大病院を「声」でつなぐ

近大メディカルラジオ

日々の健康づくりに役立つ情報や
医学部・病院スタッフの素顔をお届け



 voicy にて毎週水曜 **ON AIR**

下記QRコードより無料でご視聴いただけます



初回放送：2021年5月19日（水）
「はじまりました！近大メディカルラジオ」
ゲスト：近畿大学病院 病院長 東田有智

<https://voicy.jp/channel/1731>

今後のラインナップ

「こだわりいっぱい！近大流病院食」
「赤ちゃんの食物アレルギーを正しく理解しよう」
「白い巨塔ってホント？大学教授の素顔」
・・・and MORE！

アプリがなくても無料でご視聴いただけますが、
ぜひVoicyアプリをダウンロードいただき、
チャンネル登録お待ちしております！
↓アプリダウンロードはこちらから↓



Voicy [ボイシー] - 音声
プラットフォーム
Voicy, Inc.



← iOS



← Android

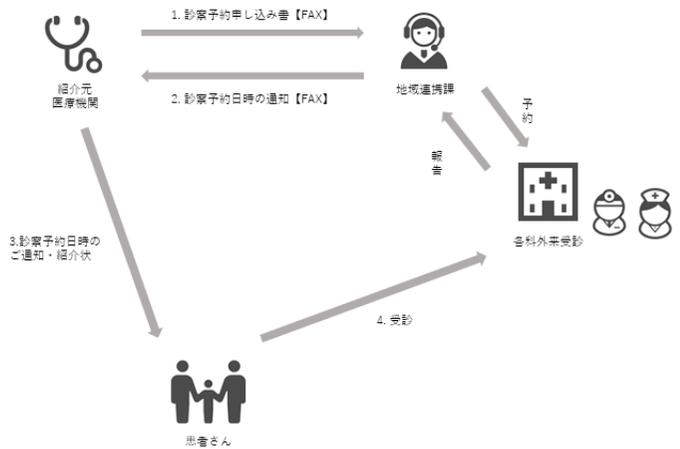


※AppleおよびAppleロゴは、Apple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
※Google Play およびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。

紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願いいたします。

1. 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、地域連携課までFAXをお願いいたします。
2. 患者さんのご希望の日時で予約をとり、「診察予約日時の通知」をFAXにて返信させていただきます。
(平日20時まで対応いたします)
3. 患者さんに予約日時等をご説明いただき、診察予約日時のご通知・紹介状をお渡しください。



地域連携課

直通TEL 072-366-0241

FAX 072-365-7161

【受付時間 9:00-20:00】

(紹介予約に関するお問い合わせ)

緊急患者紹介方法について

地域連携課 【受付時間 9:00-17:00】

072-366-0257 直ちに専門医療が必要な症例、病院事務から専門医に電話回送

救命救急センター 【24時間体制】

072-366-0250 重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、その他の高度な救急医療

脳卒中コール 【24時間体制】

072-366-0920 脳卒中（発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、急性頭痛を呈する軽症から重症の患者）、くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い

ハートコール 【24時間体制】

0120-145-810 狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患

周産期コール 【24時間体制】

072-366-0133 産科救急（母体救急、胎児救急）、婦人科救急

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さんで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請（相談）に応じ、医師がドクターカーに同乗し、患者さんをお迎えにあげます。

ハートコール 心臓血管センター 【24時間体制】

0120-145-810

心臓血管外科

072-366-0221 (内線3138)